

第31回関愛会学術集会

日時：令和5年9月2日（土）13:30～15:00

場所：大分市平和市民公園能楽堂

one
オール市民でまちを創る
team
ワンチーム
おおいた
OITA

世代も性別も職種もこえて
みんなのチカラをひとつに。
理想のまちがこれからはじまる。

大分市長 足立 信也

大分市長プロフィール



足立信也（あだち しんや）

生年月日 1957年（昭和32年）年6月5日

出身地 大分市上戸次

趣味 スポーツ観戦

座右の銘 紅蓮（Warm Heart Cool Head）

学歴

- 1976年（昭和51年） 大分県立大分舞鶴高等学校 卒業
- 1982年（昭和57年） 筑波大学医学専門学群 卒業
- 1990年（平成 2年） 医学博士（筑波大学）

職歴

- 1982年（昭和57年） 筑波大学附属病院医員（研修医）
- 1984年（昭和59年） 筑波大学附属病院医員
- 1988年（昭和63年） きぬ医師会病院外科診療科長
- 1994年（平成 6年） 筑波大学臨床医学系外科講師
- 2003年（平成15年） 筑波大学臨床医学系外科助教授
- 2003年（平成15年） 国立霞ヶ浦病院消化器科医長
- 2004年（平成16年） 筑波メディカルセンター病院診療部長
- 2004年（平成16年） 第20回参議院議員選挙（大分県選挙区）で初当選
- 2010年（平成22年） 第22回参議院議員選挙（大分県選挙区）で2期目当選
- 2011年（平成23年） 筑波大学客員教授
- 2016年（平成28年） 第24回参議院議員選挙（大分県選挙区）で3期目当選
- 2022年（令和 4年） 一般社団法人 新時代戦略研究所 研究顧問
- 2023年（令和 5年） 大分大学客員教授
- 2023年（令和 5年） 大分市長就任

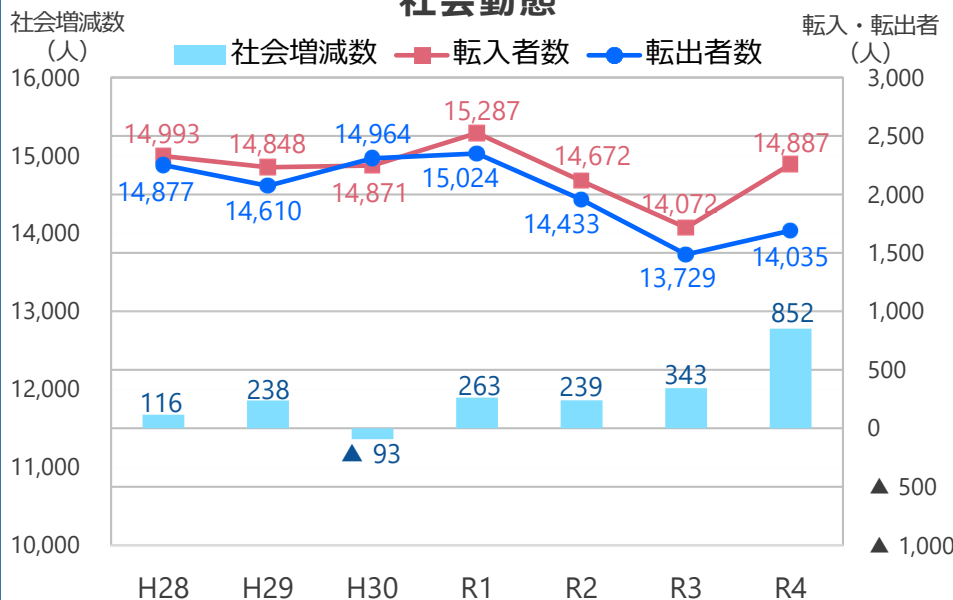
大分市の人口の状況

大分市の人口 **472,887人** (令和5年7月1日現在)

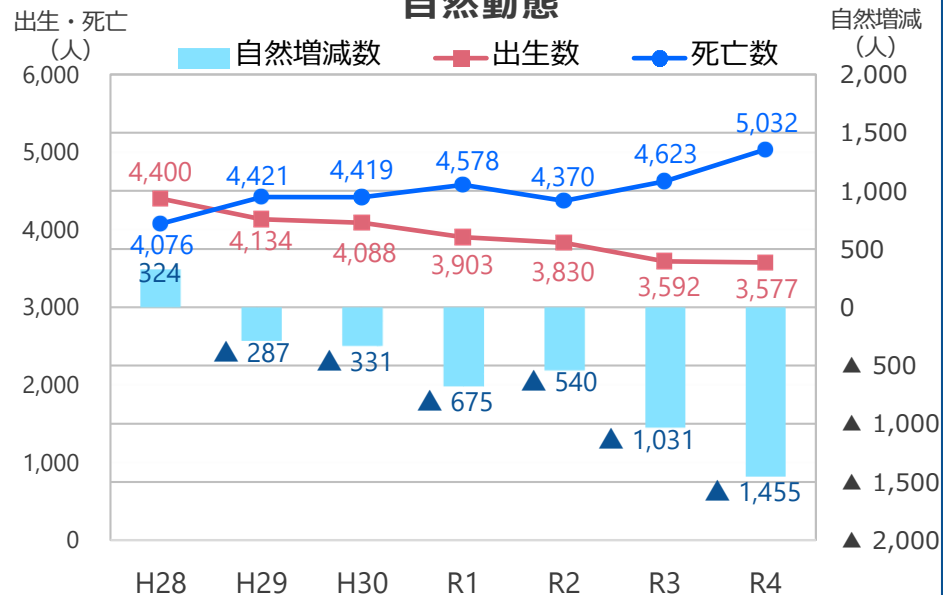
※資料：「大分県の人口推計」

前年同月比 **-1,629人** (社会動態 +398人、自然動態 -2,027人)

社会動態



自然動態



資料：大分県「大分県の人口推計報告 令和4年版」

県内の人口の状況（直近1年間）

出典：「第1回新しいおおいた共創会議」

市町村	R4.7月～R5.7月人口動態											
	R4.7人口	R5.7人口	人口増減	増減率	出生	死亡	自然増減	自然増減による増減率	転入	転出	社会増減	社会増減による増減率
県合計	1,107,821	1,097,919	-9,902	-0.89%	6,675	17,002	-10,327	-0.93%	41,209	40,784	425	0.04%
大分市	474,516	472,887	-1,629	-0.34%	3,416	5,443	-2,027	-0.43%	15,040	14,642	398	0.08%
別府市	113,844	113,348	-496	-0.44%	601	1,825	-1,224	-1.08%	5,990	5,262	728	0.64%
中津市	82,137	81,966	-171	-0.21%	546	1,205	-659	-0.80%	4,614	4,126	488	0.59%
日田市	61,013	59,912	-1,101	-1.80%	345	1,128	-783	-1.28%	1,829	2,147	-318	-0.52%
佐伯市	64,723	63,296	-1,427	-2.20%	276	1,270	-994	-1.54%	1,507	1,940	-433	-0.67%
臼杵市	34,807	34,224	-583	-1.67%	146	681	-535	-1.54%	920	968	-48	-0.14%
津久見市	15,314	14,796	-518	-3.38%	45	360	-315	-2.06%	287	490	-203	-1.33%
竹田市	19,515	18,969	-546	-2.80%	64	442	-378	-1.94%	569	737	-168	-0.86%
豊後高田市	21,915	21,691	-224	-1.02%	113	395	-282	-1.29%	1,034	976	58	0.26%
杵築市	27,017	26,455	-562	-2.08%	120	516	-396	-1.47%	968	1,134	-166	-0.61%
宇佐市	51,431	50,803	-628	-1.22%	261	990	-729	-1.42%	1,965	1,864	101	0.20%
豊後大野市	32,609	31,860	-749	-2.30%	105	749	-644	-1.97%	1,087	1,192	-105	-0.32%
由布市	32,466	32,261	-205	-0.63%	242	513	-271	-0.83%	1,903	1,837	66	0.20%
国東市	25,358	24,949	-409	-1.61%	99	601	-502	-1.98%	1,493	1,400	93	0.37%
姫島村	1,626	1,571	-55	-3.38%	3	34	-31	-1.91%	34	58	-24	-1.48%
日出町	27,491	27,376	-115	-0.42%	187	371	-184	-0.67%	1,133	1,064	69	0.25%
九重町	8,197	7,990	-207	-2.53%	32	195	-163	-1.99%	270	314	-44	-0.54%
玖珠町	13,842	13,565	-277	-2.00%	74	284	-210	-1.52%	566	633	-67	-0.48%

・令和5年7月1日現在の人口：1,097,919人

・この1年で
内訳として
自然増減 ▲10,327人（全市町村において減少）
社会増減 +425人（8市町村で増加、10市町村で減少）

大分市の人口の状況

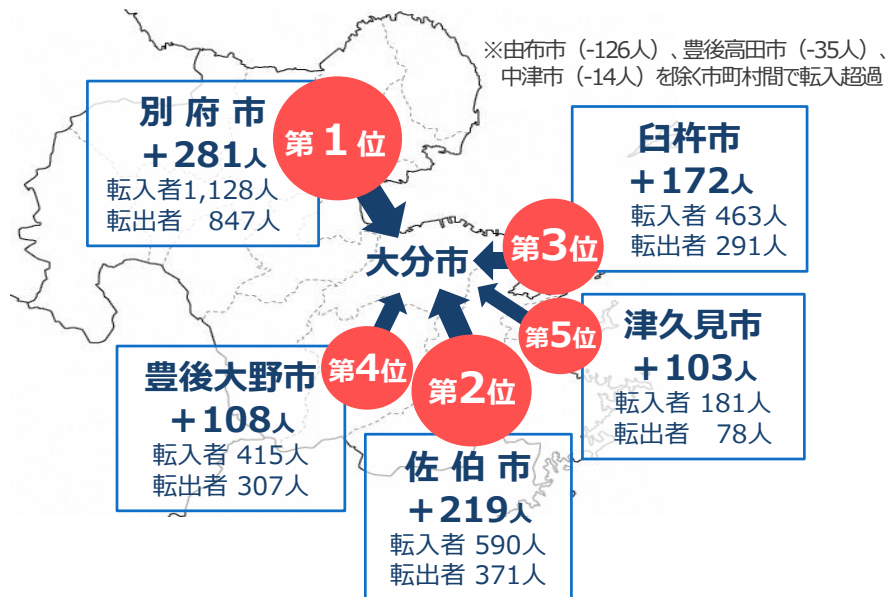
資料：大分県「大分県の人口推計報告 令和4年版」

県内他市町村との人口移動

1,100人の転入超過

(男性：+ 529人、女性：+ 571人)

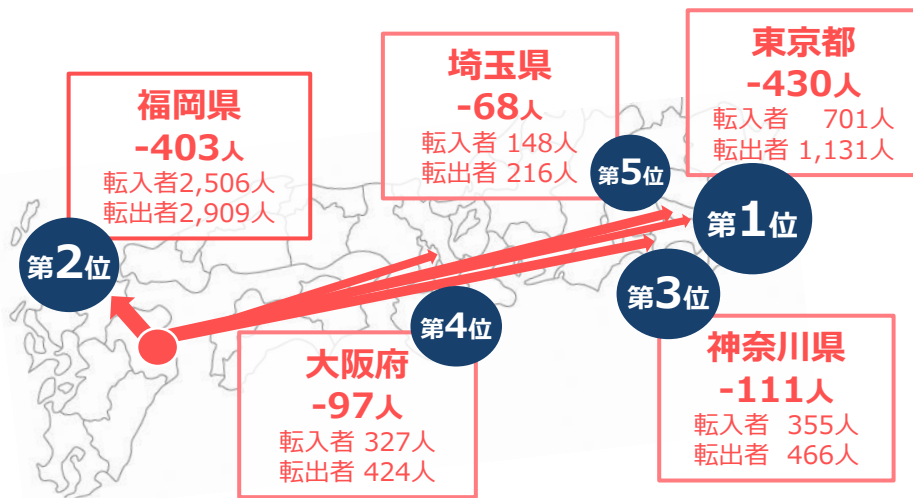
※由布市 (-126人)、豊後高田市 (-35人)、中津市 (-14人) を除く市町村間で転入超過



大分県外との人口移動

261人の転出超過

(男性：-108人、女性：-153人)



※転出超過人数の年齢区分で最も多いのは「20～24歳」

※ 前住地または転出先が不明の者 13人 (転入者:38人、転出者:25人) を含まない。

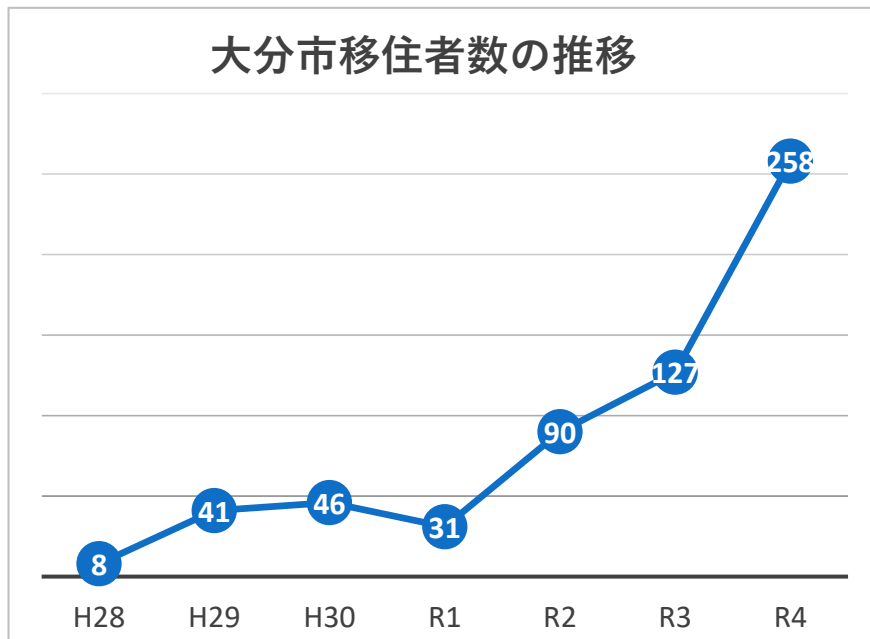
大分市への移住者の状況

資料：大分市おいた魅力発信局調べ

大分市への移住者数

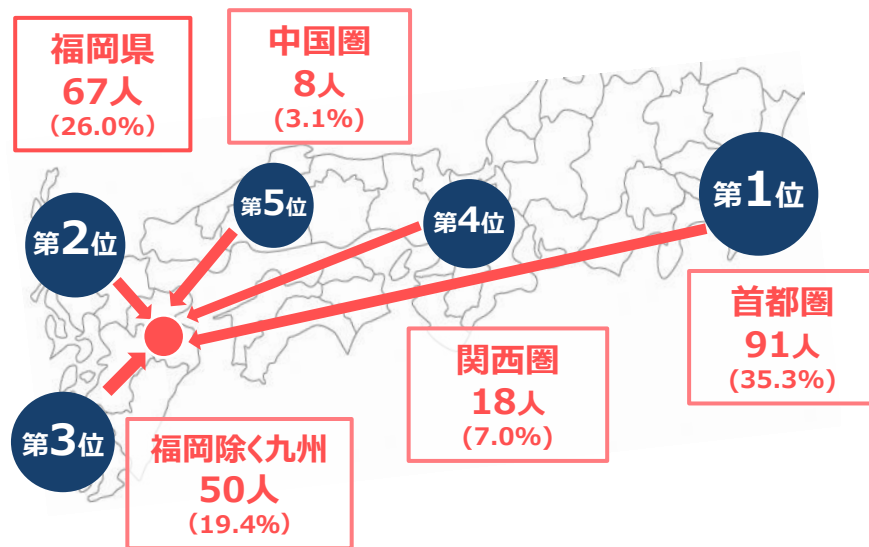
県内市町村**1位** 過去最高の**258人**
(男性：127人、女性：128人、不明：3人)

大分市移住者数の推移



移住前の住所内訳

首都圏からの移住者が**35%超**



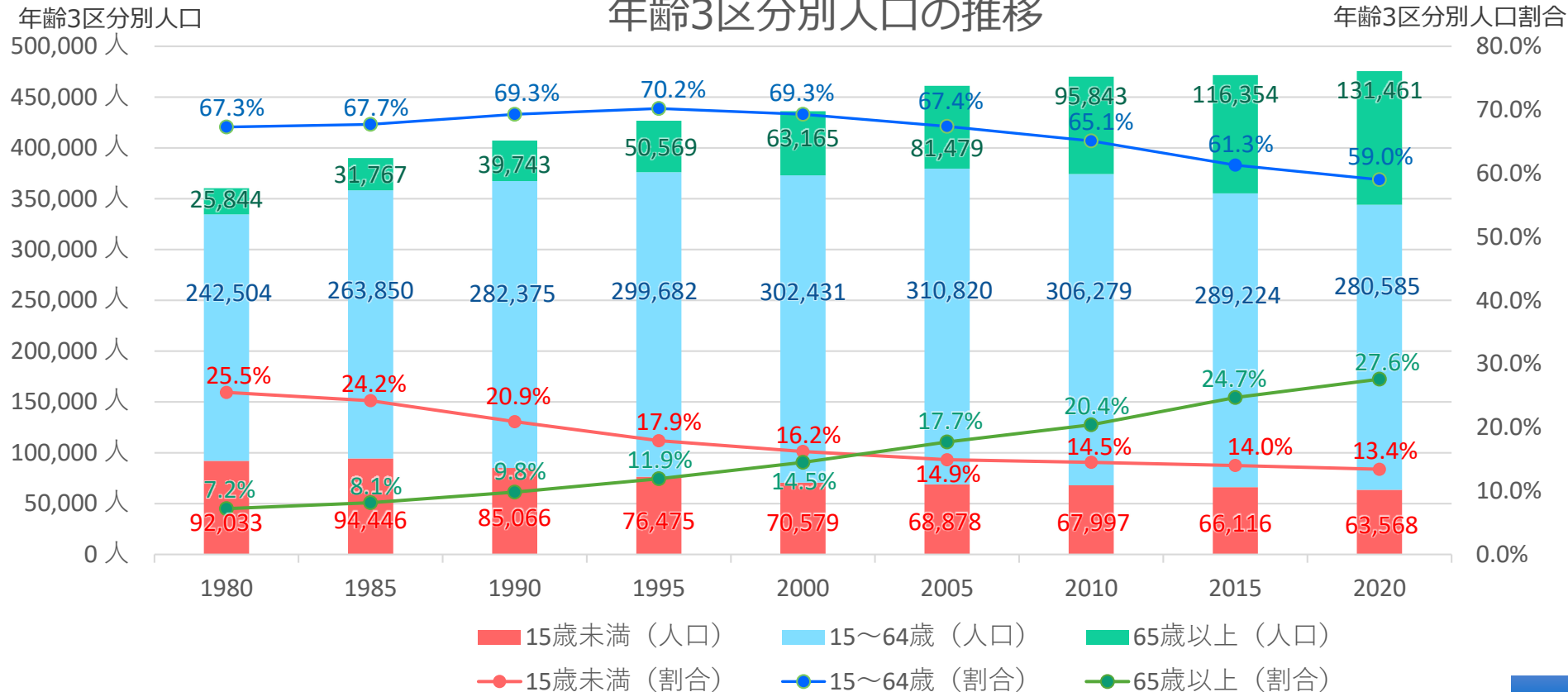
※移住者のうち「**30歳代以下**」が約**70%**、世帯においては「**子育て世帯**」が約**35%**

大分市の人口の状況

資料：総務省統計局「国勢調査」

年齢3区分別人口の推移

年齢3区分別人口割合



「ひとが真ん中。」

ひとを守る

自然災害や感染症などのリスクをあらゆる角度から想定し、被害を最小限に抑え、市民の生命と財産を守ります。

ひとを育む

妊娠・出産・子育てから大学などの高等教育まで切れ目のない支援で、誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境をつくります。

ひとを支える

少子高齢化による地域コミュニティの衰退などに備え、誰もが役割を持ち、お互いに支え合い、自分らしく輝ける社会の実現をめざします。

ひとを豊かに

市民生活の向上と心豊かな暮らしを実現します。また、このまちを次世代へ引き継ぐため、持続可能なまちづくりを進めます。

ひとを元気に

人とまちが元気に輝き続けられるよう、新たな魅力が生まれるまちづくりを進めます。

ひとを支える

地域包括ケアシステムの現状について

大分市の高齢者年齢別人口

◆市全体における65歳以上の割合は28%で、うち75歳以上は52%

令和5年6月(134,529/475,368人≒28%)			
年齢	男性	女性	合計
65～69	13,908	15,808	29,716
70～74	16,361	18,905	35,266
75～79	11,993	14,838	26,831
80～84	8,280	11,393	19,673
85～89	4,764	8,540	13,304
90～94	2,075	5,027	7,102
95～99	445	1,828	2,273
100以上	31	333	364
合計	57,857	76,672	134,529

48%

52%

大分市の地区別の高齢化率

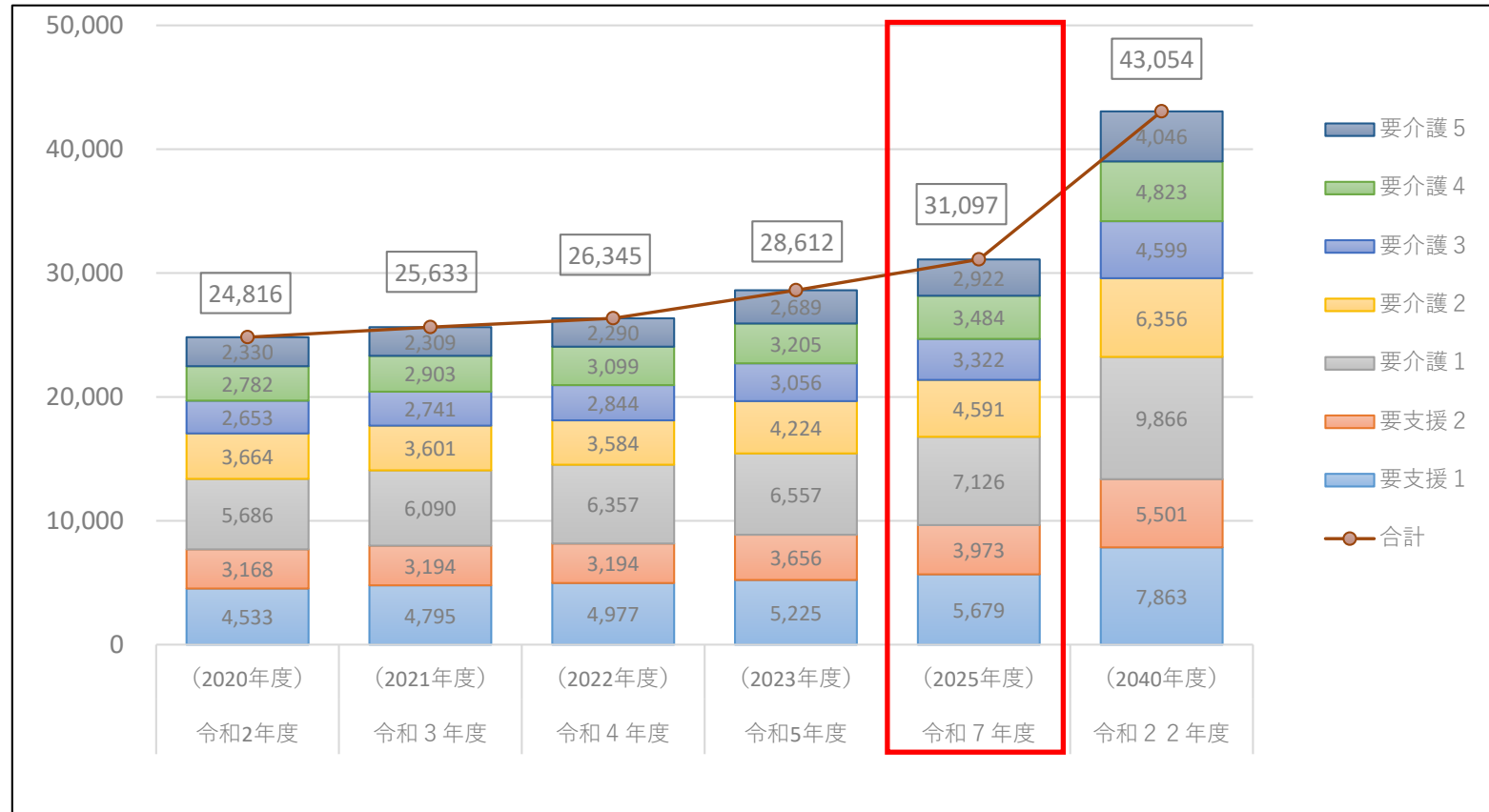
◆65歳以上の割合は市全体で28.3%。佐賀関地区は高齢化率が最も高く57.8%で、15歳未満と15～64歳（生産人口年齢）ともに最少となっており、少子高齢化に直面

	人数			割合（%）		
	計	男	女	15歳未満	15～64歳	65歳以上
本庁地区	204,161	96,792	107,369	12.8	61.1	26.1
鶴崎地区	82,748	40,371	42,377	15.2	58.8	26.1
大南地区	25,899	12,435	13,464	11.0	56.9	32.1
植田地区	79,984	37,932	42,052	11.8	52.8	35.4
大在地区	29,778	15,419	14,359	15.6	65.9	18.5
坂ノ市地区	20,688	10,285	10,403	17.8	58.1	24.1
佐賀関地区	7,464	3,508	3,956	3.7	38.5	57.8
野津原地区	4,045	1,924	2,121	7.4	46.0	46.6
明野地区	20,601	9,861	10,740	12.1	57.1	30.8
大分市合計	475,368	228,527	246,841	13.1	58.6	28.3

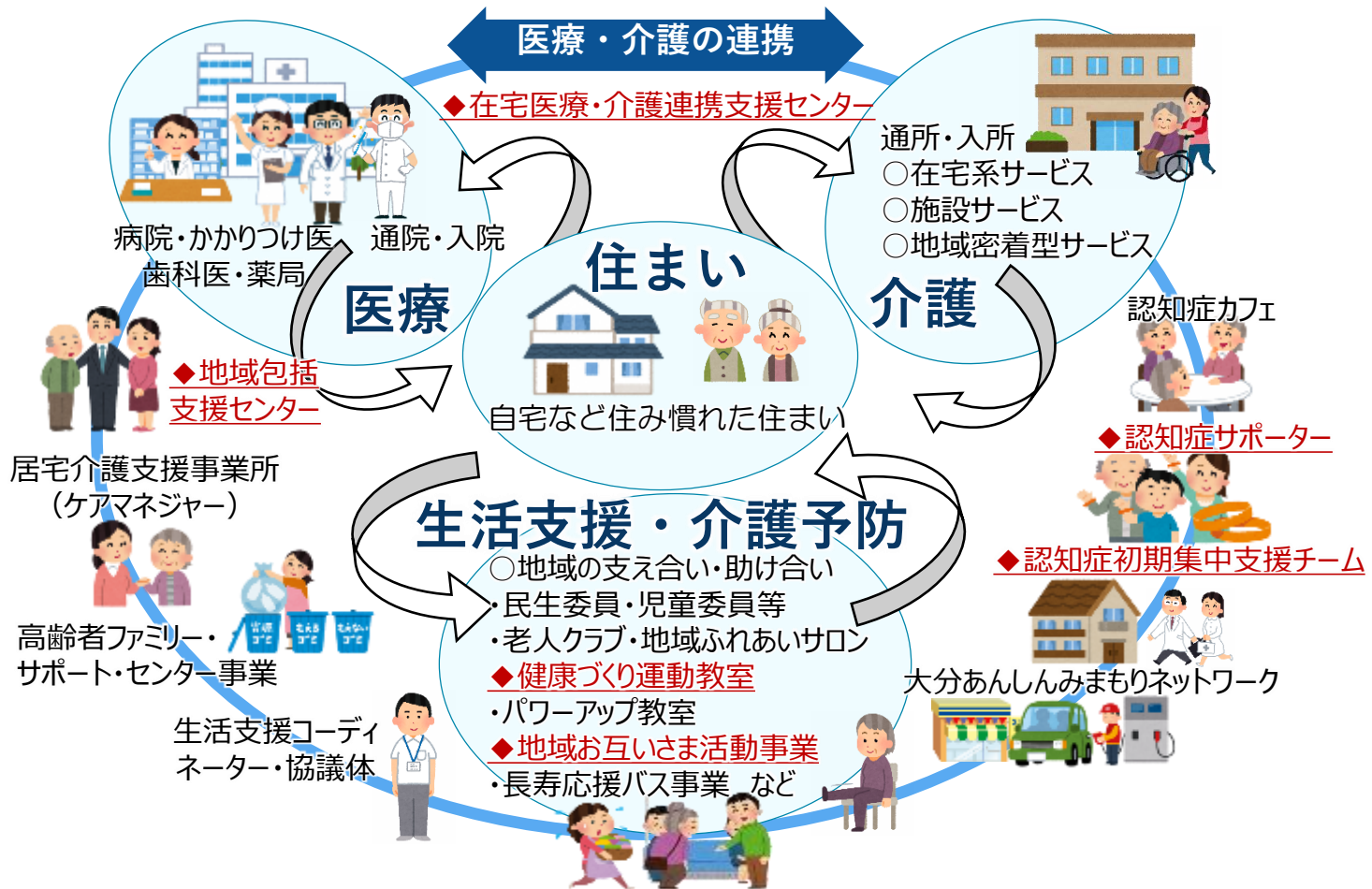
※資料：住民基本台帳人口（令和5年6月末時点）四捨五入の関係で一致しない場合がある。

大分市の要支援、要介護認定者数について

◆ 2025年、団塊の世代のすべてが75歳以上に到達



大分市の地域包括ケアシステムの概要



大分市の施策の体系図

地域包括ケアシステムの構築・推進

基本目標

① 自立した生活を継続するための支援、介護予防・重度化防止の推進

② 尊厳ある暮らしを続けるための支援体制の推進

③ いつまでも安心して暮らせるための福祉の充実

④ 健やかに生活できるための生きがいづくりの支援

施策の展開

- ◆ 自立支援・介護予防に関する普及啓発、重度化防止の推進
- ◆ 健康の保持増進
- ◆ 在宅医療・介護連携の推進
- ◆ 地域ケア会議の推進

- ◆ 普及啓発・本人発信支援
- ◆ 認知症への備え・医療・ケア・介護サービス・介護者への支援
- ◆ 認知症バリアフリーの推進
- ◆ 若年性認知症への支援・社会参加支援
- ◆ 高齢者の尊厳を守る施策の強化

- ◆ 高齢者福祉サービスの充実
- ◆ 介護保険サービスの体制整備
- ◆ 高齢者の施設・住まいの基盤整備
- ◆ 介護職をはじめとする人材の確保
- ◆ 災害や感染症対策に係る体制整備

- ◆ 社会参加活動の促進
- ◆ 生きがいづくり対策
- ◆ 生活支援の体制整備

現状の具体的な事業例

①地域包括支援センターの設置

高齢者の総合相談窓口として、市内の23の日常生活圏域ごとに地域包括支援センターを設置しています。主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師の3職種を配置し、それぞれの専門性を活かして、高齢者やその家族などからのさまざまな相談等に対応する。

「困ったなあ・・・」
を一緒に考えます



あなたの元気を応援
します



地域の協力体制を
支えます



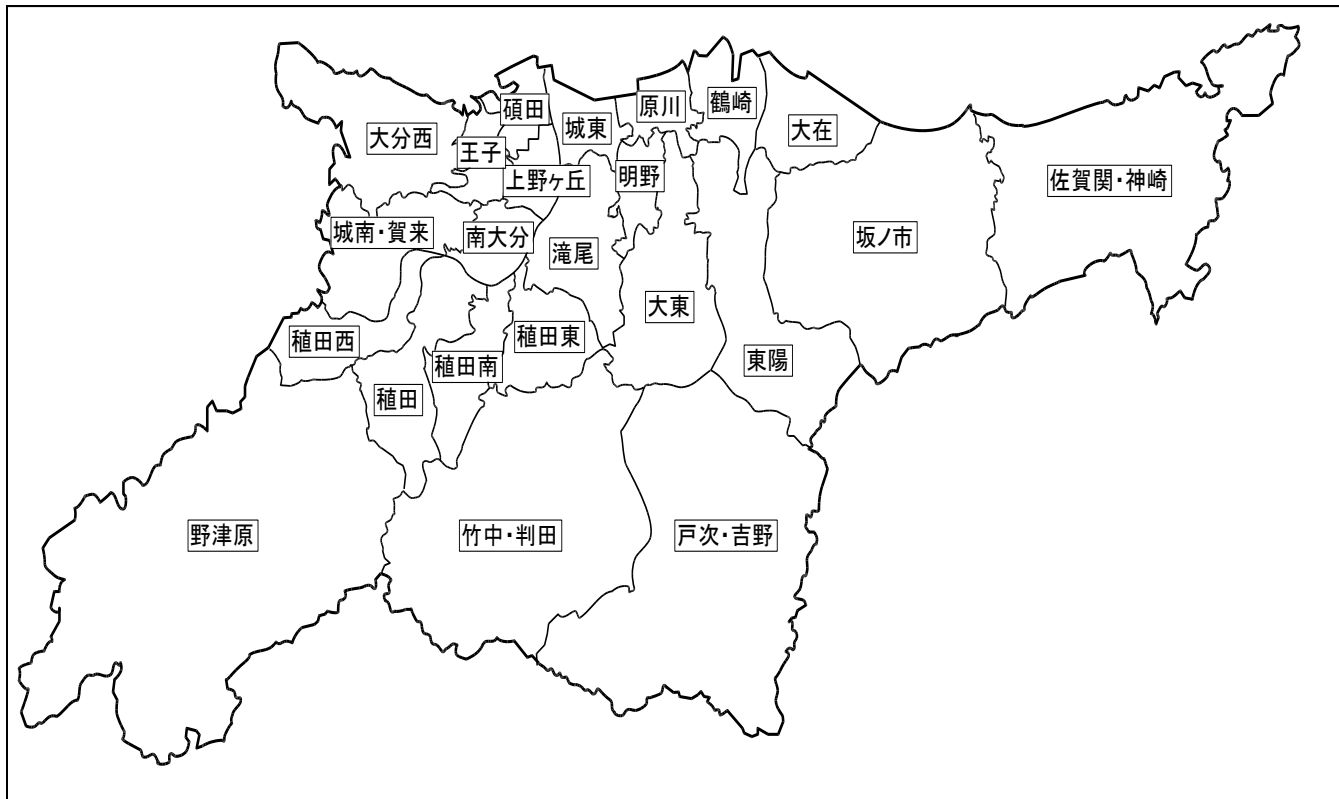
高齢者の権利と尊厳を
守ります



現状の具体的な事業例

参考：23の日常生活圏域（地域包括支援センターを設置する圏域）

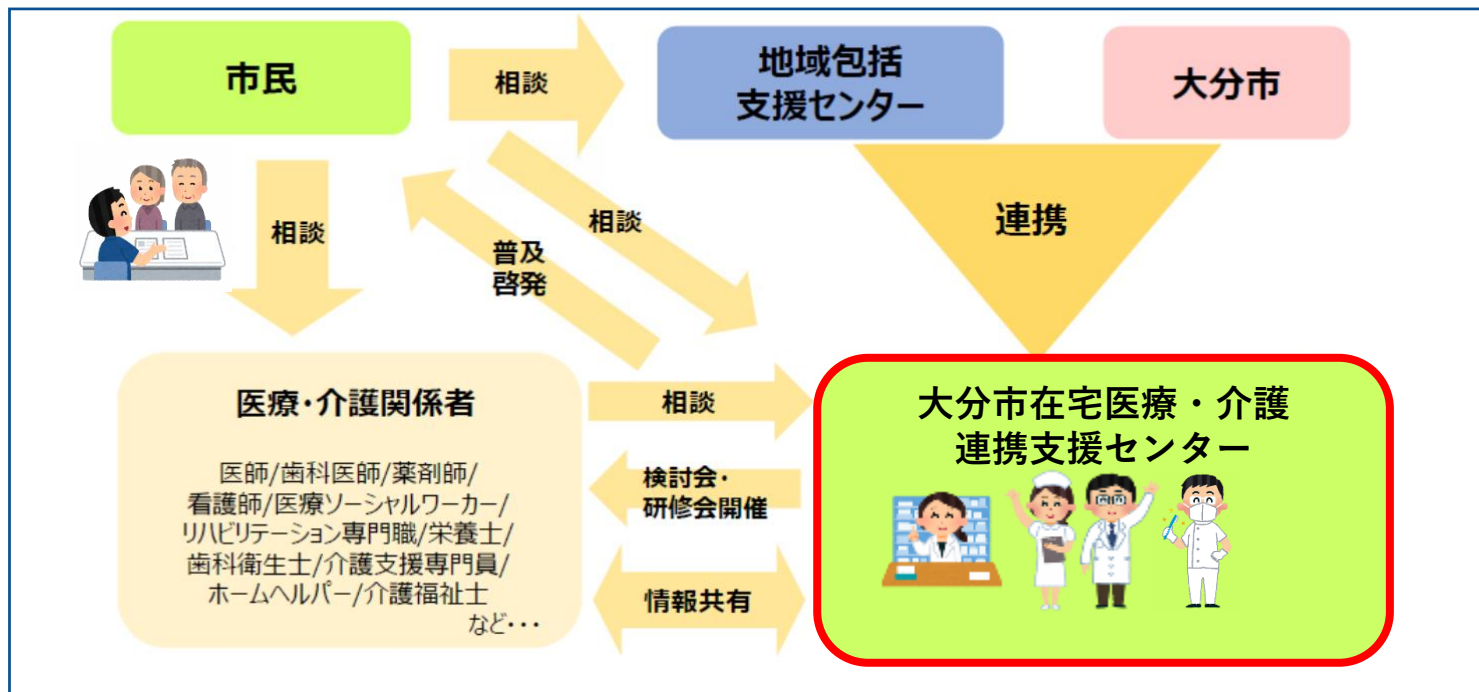
※**中学校区を基本**に高齢者人口の増加、地理的条件、生活形態等を総合的に勘案して設定



現状の具体的な事業例

②大分市在宅医療・介護連携支援センターの設置

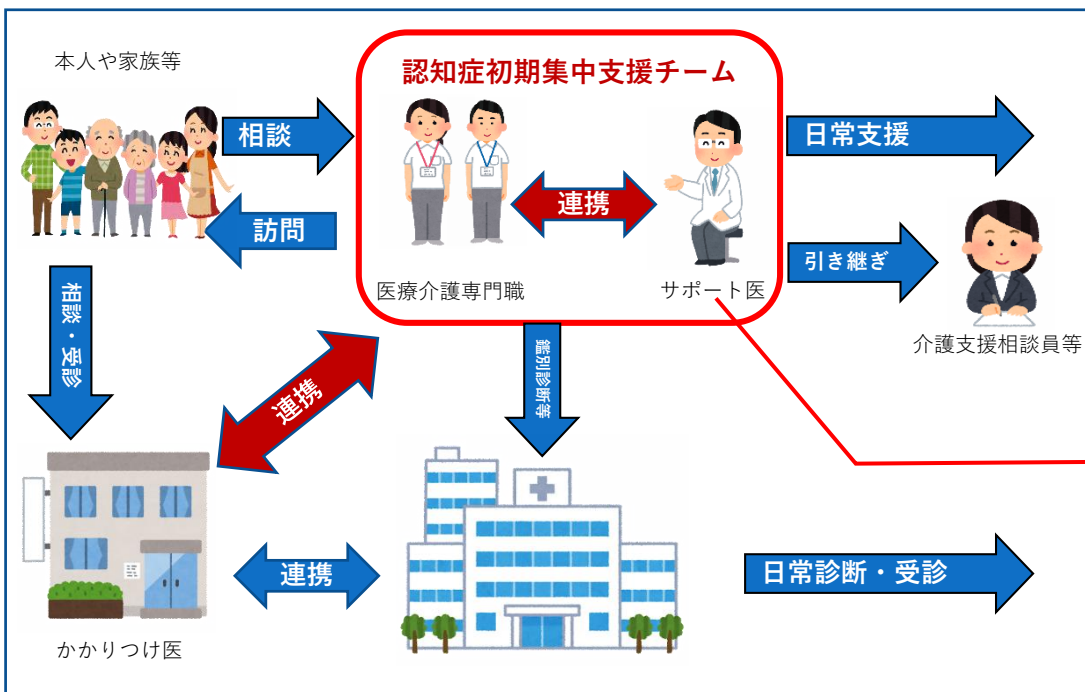
医療ニーズと介護ニーズを併せ持つ在宅の高齢者を地域で支えていくため、「大分市在宅医療・介護連携支援センター」を設置し、在宅医療・介護に関する相談支援や情報提供、医療・介護関係者の連携支援、研修や講演会の開催などを行う。



現状の具体的な事業例

③認知症初期集中支援推進事業

認知症サポート医（15名）等で構成する「認知症初期集中支援チーム」を長寿福祉課に置き、認知症が疑われる方などを訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的（おおむね6カ月）に行うことで、自立生活のサポートをする。



認知症初期集中支援チーム サポート医一覧		
	医療機関	サポート医
1	わかば台クリニック	山内 千代
2	衛藤病院	衛藤 龍
3		大谷 康清
4	松本内科循環器科クリニック	松本 悠輝
5	大分共立病院	岡 真一郎
6	河野脳神経外科病院（認知症疾患センター）	河野 義久
7	佐藤病院	萩原 聡
8	帆秋病院	帆秋 伸彦
9	大分下郡病院	松下 卓郎
10		宮本 武司
11	だいかく病院	大角 秀一
12		元森 照夫
13	緑ヶ丘保養園（認知症疾患センター）	白坂 真男
14	よつばファミリークリニック	藤谷 直明
15	ヒカリノ診療所	平山 匡史

現状の具体的な事業例

④認知症サポーター養成講座（出前講座）

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かい目で見守る応援者を養成する。受講者には「オレンジリング」・「オレンジバッジ」のいずれかを配布する。

※サポーター養成数：50,105人（令和5年3月末時点）

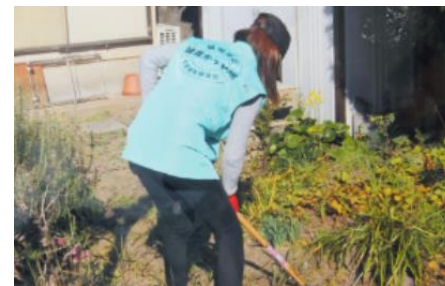


オレンジリングとオレンジバッジ

⑤地域お互いさま活動事業

地域住民などのボランティア等で構成された団体が高齢者に対して軽度な生活援助等（掃除、洗濯、買い物、ゴミ出し等）を行うための立上げや継続にかかる運営経費を補助する。

※補助対象数：11団体（令和5年8月末時点）



地域お互いさま活動事業の活動風景

⑥市民健康づくり運動教室

健康づくりの推進のため、大分市民健康づくり運動指導者が地区公民館等で運動教室を開催して、全身体操・ストレッチ・脳刺激体操・筋トレ等を行う。

※開催数：201教室（令和5年度実績）



市民健康づくり運動教室の風景

ひとを支える

地域包括ケアシステムの課題について

主な課題①

1. 介護が必要となった主な原因（大分市）

	1位	2位	3位
全体	高齢による衰弱 17.6%	骨折・転倒 15.2%	関節の病気 11.2%
男性	高齢による衰弱 19.7%	糖尿病 13.0%	心臓病 12.5%
女性	骨折・転倒 17.6%	高齢による衰弱 16.4%	関節の病気 12.2%

トップ3は
「フレイル」
に関するもの

課題①

自立した生活を維持

するため、健康づくり

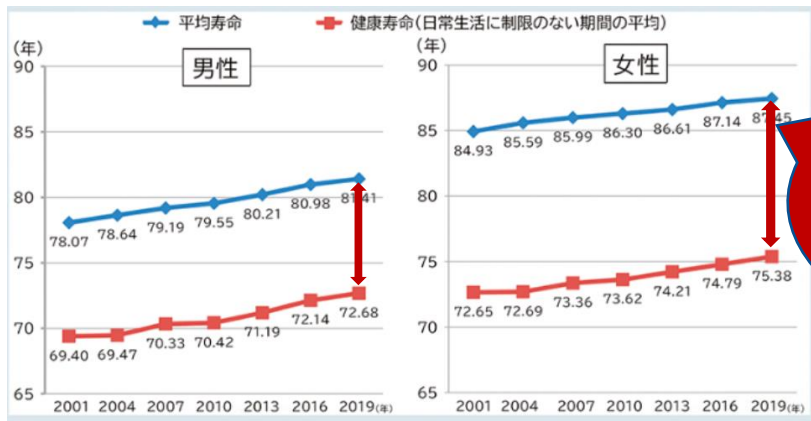
や介護予防に取り組み

健康寿命を延ばすこ

とが重要

2. 平均寿命と健康寿命の推移（全国）

※大分市長寿福祉課調べ

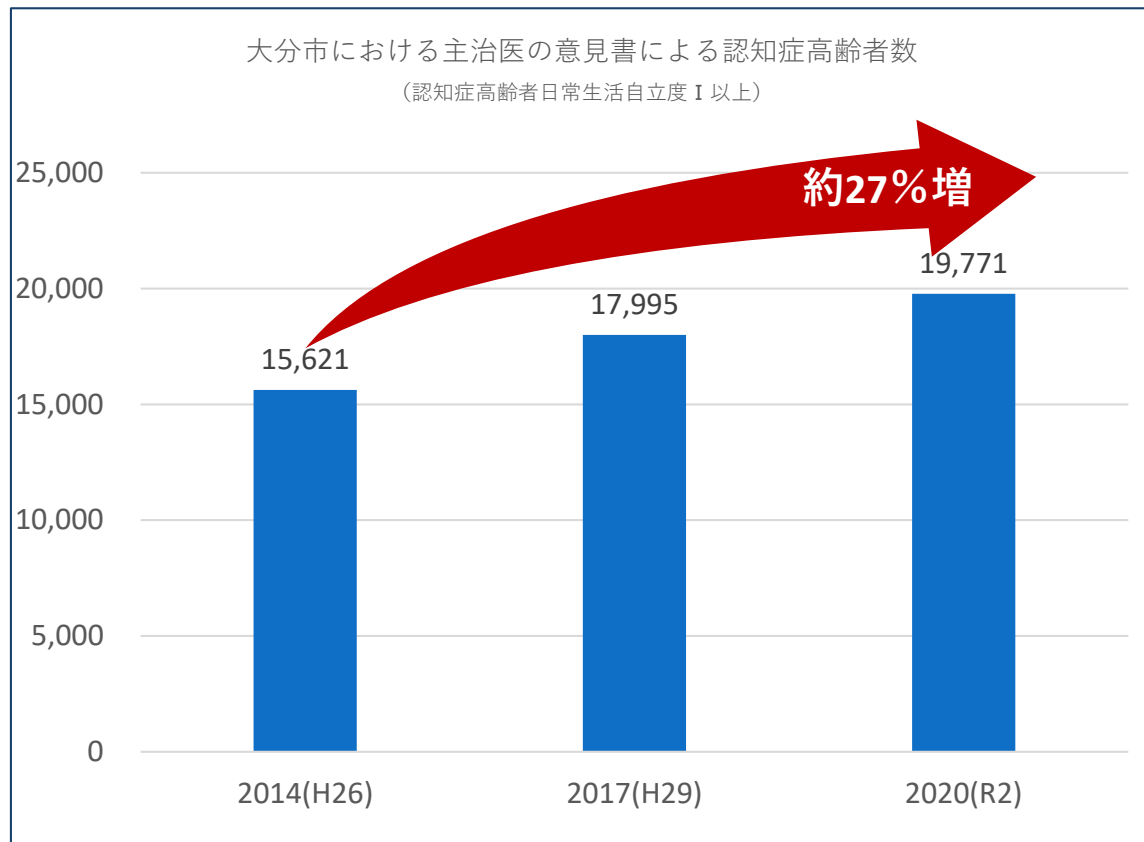


女性：12.07年
男性：8.73年
※平均寿命と健康寿命の
差（2019年時点）

※出典：令和4年版厚生労働白書

主な課題②

◆認知症高齢者数の増加



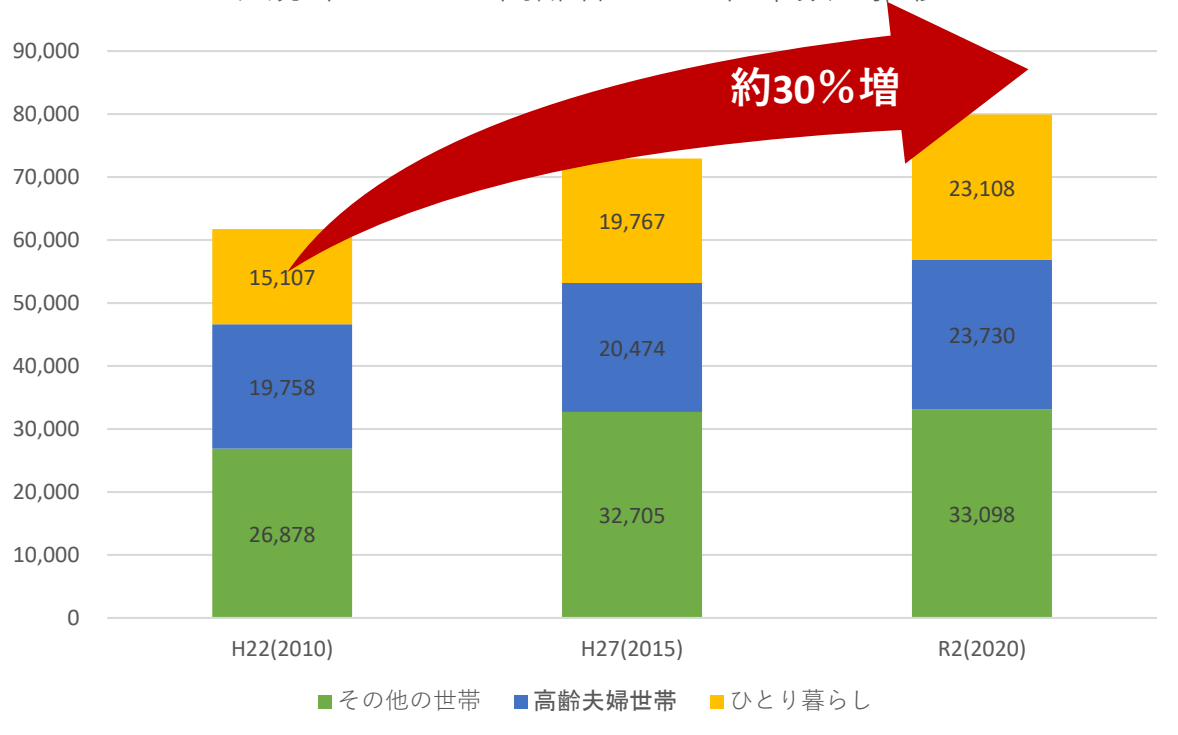
課題②

自分らしく暮らして
いくため、予防を含め
た認知症への「備え」
や地域での「共生」の
取組を推進

主な課題③④

◆高齢者のいる世帯の増加

大分市における高齢者のいる世帯数の推移

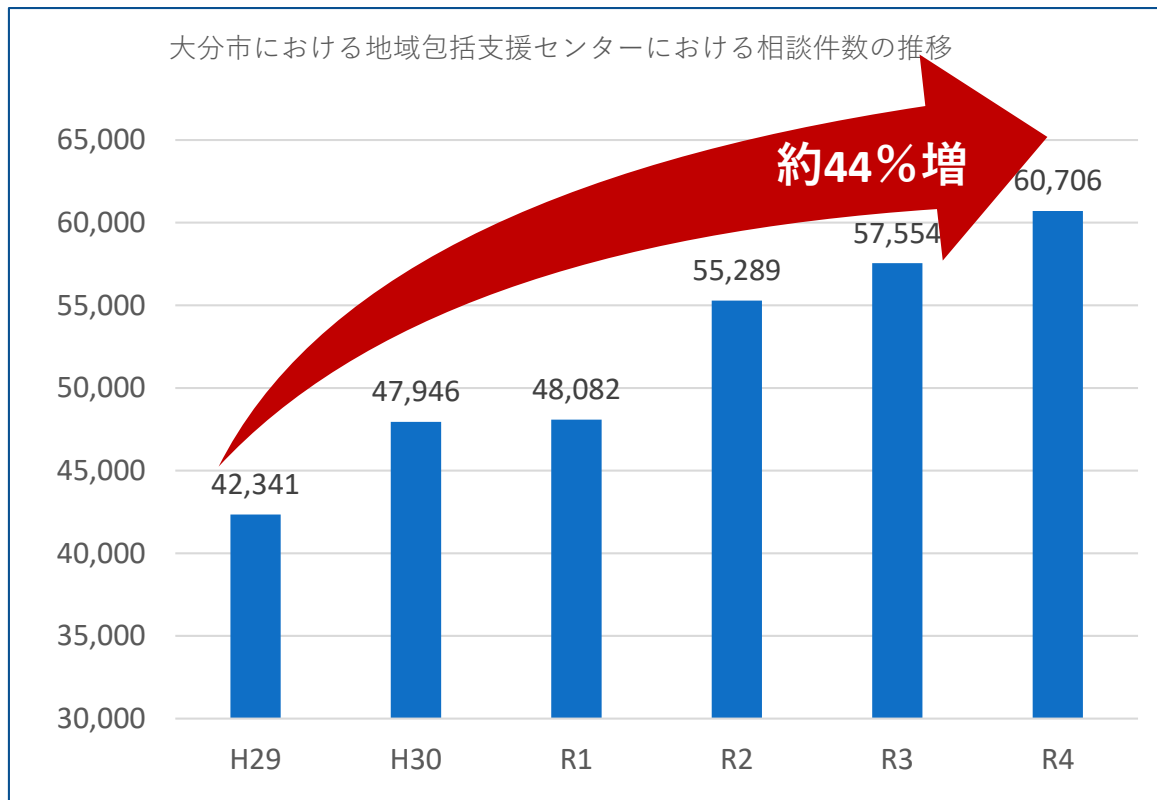


課題③④

- ・ 介護が必要な状態になっても生活を継続できる体制の整備
- ・ 生きがいを持って生活をするため、地域の活動の担い手として活躍

主な課題⑤

◆重要性が増す地域包括支援センター



※大分市長寿福祉課調べ

課題⑤

高齢者の総合相

談窓口である地域

包括支援センター

の機能強化

※割愛

ひとを支える

地域包括ケアシステムの今後の展望について

※割愛

本日のまとめ

オール市民でまちを創る

one team ITA

ワンチーム
おおいた

ご清聴ありがとうございました